



# 木屋瀬祇園宿場祭

7月14日(土) 15日(日)

お夕取口	8時30分	当番町事務所集合・4年生以上
事務所開き	11時	下町事務所 一番山笠関係者
	11時30分	芝原事務所 二番山笠関係者
山笠巡行	13時	向番町事務所より出発 子供は昼食を済ませての参加の事
奉納	16時	4年生以上
	20時	4年生以上
青山笠巡行	奉納後山笠を事務所を持ち帰り子供は解散 其の後 青山巡行は22時迄	
集合写真撮影	9時20分	須賀神社集合
	10時	写真撮影後 須賀神社より出発
山笠巡行	13時~16時	向番町事務所より出発
	16時	4年生以上
宮入	21時	4年生以上

筑前木屋瀬祇園宿場祭とは「水無月の夏越の祓いする人は千歳の命延ぶと云なり」と万葉古歌に歌われますように日本伝統の古習であり、須賀神社でも氏子が茅の輪をくぐり息を吹きかけた人形(ひとがた)を神社に納め、過津日(まがつひ)の邪神を祓い息災を祈願してきた「夏越大祓祭」と祇園社の創建以来、五百六十余年の歴史を誇る伝統行事「木屋瀬祇園」の祭りとを昭和三八年より併せて執り行う様になってからの行事名称でございます。本年度は七月の十四・十五日に執り行われます。

祭りの賑いの中心となる山笠は、山笠会館運営委員会によって制作中ですが、手作りに人形飾り制作の腕前

## 木屋瀬夏の大祭。今年もより熱く、そして盛大に！

も年々上達し、又今年山笠の開き部分も新調されるなど、今年も豪華華麗なる山笠が披露される事が期待されます。更に展示棟に据え置く岩山笠、高さ九メートル(トール)の方も、模索を重ねながら、木屋瀬ならではの趣向を凝らして順調に制作が進んでいる様子を見ることが、山笠を通じた郷土木屋瀬に注ぐ若者たちの熱き思いを心嬉しく感じると共に、山笠会館の健全なる発展を慶びと致します。

年々盛んになってきた木屋瀬祇園宿場祭の概要をご理解戴き、依り多くの氏子の皆様に親しんで戴く為、今年も紙面をお借りして祇園宿場祭に伴う行事の何点かを、ご説明をさせていただきます。



北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館 広報部 広報員 廣瀬 三丁目16番26号 (〒807-1261) TEL 093-619-1149 FAX 093-617-4949

山笠巡行の際の日は危険なため使用禁止の事。  
水法被及び足袋もしくは運動靴を着用の事。  
水法被着用者以外の痛い用テントへの入場は法度の事。  
子供及び付添の女性等は別途設置のテントを利用の事。

平成十九年度筑前木屋瀬祇園宿場祭 副実行委員長 柴田泰助

○「棒洗い」今年六月二十四日十時山笠格納庫より担ぎ出した棒を遠賀川河川敷の「棒洗い処」まで運び、藁束子で洗い清めた後、神前にてお祓いをうけ「台からげ」までの間神社外陣参道に据え置きます。

○「台からげ」七月一日十三時以前は、昇き棒、舵棒を山笠台につけ四本柱を立てた後、町内を曳き廻して山笠台の慣らしを行っていましたが、現在は手作り人形飾りの関係上、棒だけを取り付けています。

○「夏越大祓祭」氏子の皆様のお宅に配布されている人形(ひとがた)に、氏名と年齢を「男子は白」「女子は紅」に書き入れ、お参りの際に神前に納め下さい。因みに大祓の祭典は七月十四日の一八時より大祓祭として執り行われますが、先ず社殿にて祓いを修した後に「茅の輪くぐり」の行事を行い、再び社殿にて大祓祭典と云う次第で執り行われますので、氏子の皆様挙ってのご参詣・ご参加をお待ち致します。



山笠巡行や宮入時には、夜に美しく映える山笠の演出も見所のひとつになっています

今回は以上3点ご紹介致しました。本年度祇園宿場祭の執行にあたり、実行委員会本部はもとより、本年度一番山笠(芝原)向番町(下町)二番山笠(青山笠)関係者一同、木屋瀬祇園の歴史と伝統の重みを踏まえ、厳粛なる規律を以って盛大に執り行う所存でございますので、氏子の皆様方にも、ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

第二回「木屋瀬の風景」写真コンテスト 審査委員長 池田 正生

開催期間：平成19年7月7日(土)～8月19日(日) 展示先：長崎街道木屋瀬宿記念館にて、前期応募作品86点を中心に展示します。

「おめでとうございます！」

前期応募総数86点の中から、入選作品20点(20作品)発表

三浦 政人(八幡東区) 三浦 健二(若松区) 有田 健二(若松区) 中島 孝(小倉南区) 佐伯 弘巳(門司区) 佐伯 弘巳(門司区) 中 賢一郎(八幡東区) 中 賢一郎(八幡東区) 中 経子(八幡東区) 中 経子(八幡東区) 今村 恭一(宮若市) 広永 栄(八幡西区) 西山 京子(八幡西区) 西山 京子(八幡西区) 西山 京子(八幡西区) 鈴木 初子(八幡東区) 鈴木 初子(八幡東区) 西山 良子(八幡西区) 西山 良子(八幡西区) 本庄 仁(八幡西区) 本庄 仁(八幡西区) 山内 正之(小倉南区)

「木屋瀬の風景」写真コンテスト 前期入選作品(20作品)発表

審査委員長 池田 正生

開催期間：平成19年5月1日から平成19年10月31日まで。  
応募期間：平成19年11月1日から平成19年11月30日まで。  
審査結果発表：後期入選作品の発表は平成19年12月中旬、木屋瀬宿記念館にて発表。  
賞：後期入選作品20点、また前期・後期入選作品の中から金賞1点、銀賞2点、銅賞3点にそれぞれ賞金と副賞を差し上げます。  
応募先：〒807-1261 北九州市八幡西区木屋瀬3丁目16-26 長崎街道木屋瀬宿記念館写真コンテスト係  
問合せ先：長崎街道木屋瀬宿記念館 電話 (093) 619-1149 ※月曜休館

「木屋瀬の風景」写真コンテスト 募集中

テーマ：木屋瀬の町並み、祭り、行事、神社、仏閣などの四季折々の風景。  
撮影期間：平成19年5月1日から平成19年10月31日まで。  
応募期間：平成19年11月1日から平成19年11月30日まで。  
審査結果発表：後期入選作品の発表は平成19年12月中旬、木屋瀬宿記念館にて発表。  
賞：後期入選作品20点、また前期・後期入選作品の中から金賞1点、銀賞2点、銅賞3点にそれぞれ賞金と副賞を差し上げます。  
応募先：〒807-1261 北九州市八幡西区木屋瀬3丁目16-26 長崎街道木屋瀬宿記念館写真コンテスト係  
問合せ先：長崎街道木屋瀬宿記念館 電話 (093) 619-1149 ※月曜休館

「木屋瀬の風景」写真コンテスト 募集中

テーマ：木屋瀬の町並み、祭り、行事、神社、仏閣などの四季折々の風景。  
撮影期間：平成19年5月1日から平成19年10月31日まで。  
応募期間：平成19年11月1日から平成19年11月30日まで。  
審査結果発表：後期入選作品の発表は平成19年12月中旬、木屋瀬宿記念館にて発表。  
賞：後期入選作品20点、また前期・後期入選作品の中から金賞1点、銀賞2点、銅賞3点にそれぞれ賞金と副賞を差し上げます。  
応募先：〒807-1261 北九州市八幡西区木屋瀬3丁目16-26 長崎街道木屋瀬宿記念館写真コンテスト係  
問合せ先：長崎街道木屋瀬宿記念館 電話 (093) 619-1149 ※月曜休館

「木屋瀬の風景」写真コンテスト 募集中

テーマ：木屋瀬の町並み、祭り、行事、神社、仏閣などの四季折々の風景。  
撮影期間：平成19年5月1日から平成19年10月31日まで。  
応募期間：平成19年11月1日から平成19年11月30日まで。  
審査結果発表：後期入選作品の発表は平成19年12月中旬、木屋瀬宿記念館にて発表。  
賞：後期入選作品20点、また前期・後期入選作品の中から金賞1点、銀賞2点、銅賞3点にそれぞれ賞金と副賞を差し上げます。  
応募先：〒807-1261 北九州市八幡西区木屋瀬3丁目16-26 長崎街道木屋瀬宿記念館写真コンテスト係  
問合せ先：長崎街道木屋瀬宿記念館 電話 (093) 619-1149 ※月曜休館

## 木屋瀬の思い出「木屋瀬を訪ねて」 寄稿 成田 史樹

正午から、地区内にある創作料理店で昼食。築百二年の旧家らしく、入り口の敷居が高く、またいで入らなければなりません。

当日、福岡のホテルまで彼らを迎えに行った私たちは、再会を喜んだ後、さっそく木屋瀬へ車を走らせました。一時間ほどで木屋瀬に到着。まずは、記念館の近くにある土産店、もやいの家を訪れ、昔は呉服問屋だったという店内に飾られたいくつもの美しい雛人形や骨董品を鑑賞しました。三月三日が誕生日の娘さんは、端正な顔の「おひなさま」に釘付けでした。店の男性に招かれ、二階へも上がった彼らは、年代を帯びた建物や珍しい展示の品々に感動し、かなりの時間そこに留まりました。



歴史や文化を感じながらの昼食

## 古い歴史や人々の温かさに触れたひととき

米国カンザス州の知人から、家族三人で三月の半ばに来日するというメールが届きました。北九州市に数日間滞在の予定。その期間中、どこに案内しようか。悩んでいた母が市の観光課に相談すると、「長崎街道宿場町の木屋瀬に案内してはどうですか?」と勧められ、パンフレットが送られてきました。そこで、私たちは早速、カーナビ・GPSを頼りに木屋瀬へドライブに出かけました。

小倉南区若園から都市高速で約二十五分。馬場山ランプで下りて、木屋瀬郵便局の横に停車し、たまたま隣の歯科医院から出てきた子ども連れの女性に母が事情を説明すると、親切にも車で木屋瀬宿記念館の前まで案内してくれました。

食事後は、料理店の前にある伊馬春部の生家を見学。案内ボランティアによる解説や雨戸の開け閉めなどの実演に、一同

## 親子お能教室

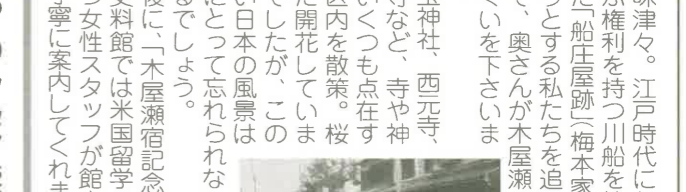


「こやのせ座」三月の恒例行事 第六回「こやのせ座・能」ならびに「こやのせ座・親子お能教室」が三月三日のお雛様の日に執り行われました。

「こやのせ座」三月の恒例行事 第六回「こやのせ座・能」ならびに「こやのせ座・親子お能教室」が三月三日のお雛様の日に執り行われました。能楽師はシテ方が大和猿楽四座の結崎座を結成した観阿弥を開祖とする観世流の森本哲郎氏。ワキ方を大和猿楽四座の外山座・宝生流の坂苗融氏。狂言方には和泉流・野村派の野村万禄氏が演じられ、演目は仕舞が「井筒」(船弁慶)能が「車僧」。開演前に現代語訳本を配布の上、森本哲郎氏による懇切な解説が行われ、初めての方やお子様にも解り易くご鑑賞戴けた事かと存じます。

又「親子お能教室」の方は、次代を担う小・中学生に日本の古典芸能「能楽」を体験させる事により、日本の歴史・文化に対する理解と興味を深める事を目的として一般に公募し無料にて開催して居りますが、当日参加した子供たちには「こやのせ座」ボランティアによってカレーライスなども振る舞われ知識を満ちた食欲に満ちた一日を「こやのせ座」で過ごしました。

## 収蔵庫蔵出し展が終了



町茶屋跡に開館したこの史料館は思った以上に広く、展示内容が充実していました。宿場町に集まっていた人たちが身につけていたもの、利用していたと思われる籠、馬具、舟

平成19年1月27日(土)から3月4日(日)まで、みちの郷土史料館において、企画展「収蔵庫蔵出し展2007」を開催しました。古くは江戸時代から、地域の皆様に代々大切に受け継がれてきた貴重な資料を約150点展示しました。木屋瀬のもつ多様な魅力を再発見し、より愛着を感じて頂けたのではないかと存じます。

期間中の来館者は1042人でした。ご来館ありがとうございました。

総会無事終了

平成19年4月27日「こやのせ座」におきまして、第7回北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会総会が開かれました。平成18年度事業報告・決算報告、平成19年度事業計画案・予算案が議案として審議され、すべて承認されました。

## 役員紹介

- 理事 長：高宮 歳継
- 副理事 長：水上 裕
- 理事 (郷土史料館運営部長兼務) 米永 博實
- 理事 高崎 尚康
- 理事 千々和 裕
- 理事 柴田 泰助
- 理事 智照
- 理事 小内 勝次
- 理事 松尾 千代子

## 新職員挨拶

四月から木屋瀬宿記念館に來まして、整備された町並みや地域の皆様への情熱に触れ、大変感動しております。宿場町木屋瀬の町起こしに、少しでも役立てるよう努力いたします。地域の皆様方のご指導ご支援のほど、よろしくお願ひ致します。

## 講座

今年も、講座「木屋瀬時代(とき)の散歩道」を開催することになりました。「木屋瀬学」の講義や研修など多彩な内容を企画しております。修了者は「木屋瀬宿まちなみ案内ボランティア」としての登録も可能です。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成19年9月7日～10月26日の毎週金曜日(全8回) おおむね午後2～4時  
対象：20歳以上の方。定員50名(先着順) ※参加費、カリキュラム等の詳細は、決まり次第、こちら等でお知らせします



